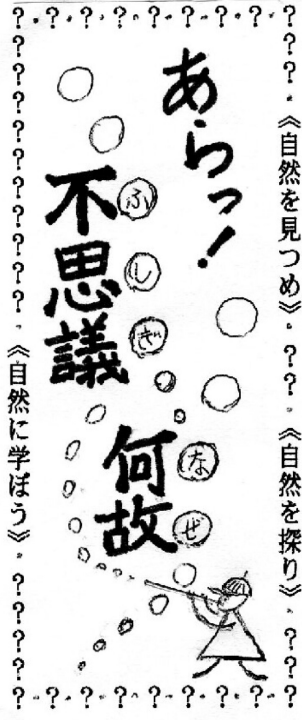


自然談議・科学談議



ホタルの源平談義

ホタルにも源氏と平氏がある。ゲンジボタルとヘイケボタルだ。半世紀前の南畑は「ホタルの宝庫」だった。あちらでピカリこちらでピカリ…、数百匹が乱舞することもあった。だが、一体ゲンジだったのかヘイケだったのかあまり語られていない。検証してみよう。

いよいよ梅雨だ。ホタルの季節でもある。

ホタルの宿は

川端やなぎ

本当かな。新河岸川の河川敷を調べてみた。確かにヤナギは多い。だが、ホタルはいなかった。昔の南畑は「ホタルの



(新河岸川の川端ヤナギ)

ホタルにも源平が

がある。源氏はゲンジボタル、平氏はヘイケボタル

古里」だったのに…。あちらでピカリこちらでピカリ、時には乱舞することもあり、家の中に紛れ込むこともあった。風情があつた。だが今は…。

ルだ。南畑にいたのはどつちだったのかな。

ゲンジボタルは日本最大ホタル。体長1・5cm。体全体は黒いが、胸部の背面は赤色で、中央に黒い十字紋がある。幼虫は水中で生活し、カワニナが餌だ。カワニナがないと育たないのだ。カワニナは水のきれいな清流が好きだ。汚れた場所には棲めないのだ。

一方、ヘイケボタルはやや小型、体長1cm。ゲンジボタルに似ている。

胸部の背面はやはり赤色で、中央に黒い縦縞がある。幼虫は水田や湖沼・堀などを好み、タニシや

NO. 45 (通算45)

絵・文・題字 渋谷 一夫

モノアラガイなどの巻貝を餌にしている。

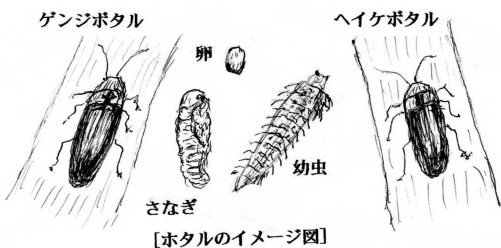
どちらの幼虫も、水中で生活し、5月頃、地上の湿地帯に出て来てさなぎとなる。約1カ月経つて6月になると、羽化して飛び出す。草むらでピカピカッと断続的に発光しているのは、この時期だ。水辺で羽化するの

草のキセルのような形をしていた。

この頃は、新河岸川もきれいだったし、カワニナも沢山いたので、ゲンジボタルもいたかもしれない。だが私が会社からの帰宅途中に捕ったホタルは小さかったので、ヘイケボタルかもしれない。新河岸川も、川端ヤナギの歌詞のように、ホタルの宿になるような川に戻りたいものである。

カワニナは南畑にも

昔は、南畑にもカワニナは沢山いた。南畑橋の下で夢中になって捕った記憶がある。3cm位の黒褐色の細長い巻貝だ。煙



[ホタルのイメージ図]